

音声合成技術を利用したリスニングとスピーキング練習の手順(砂岡 2011 年 3 月 24 日)

中国語シャドーイングのチェックポイント

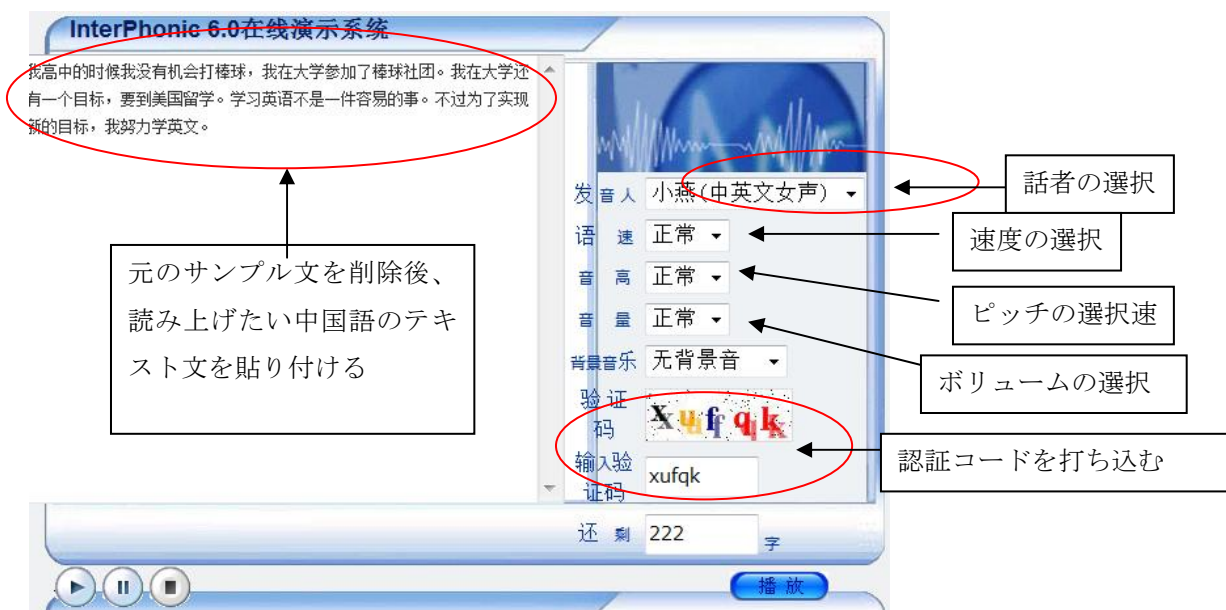
- 1 正規中国語テキスト文を用意する。あるいは自分で中国語文を作文する。
読めない漢字には[J-SERVER 自動翻訳 (学内のみ)]や辞書を引いて
ピンインを付ける。
- 2 1 を音声合成し、リスニングおよびシャドーイングする。
自作作文の場合は、誤りがないか、以下の方法で正規表現に修正する。
[J-SERVER 自動翻訳] (砂岡 HP にリンク) や[Baidu] (<http://www.baidu.com/>)
で正規表現と対照し、自作文章を修正する。読めない漢字はピンインを付ける。
- 3 以下の音声合成サイトを開き、1 のテキスト文 (漢字部分のみ) を貼り付け、
速度を「最慢」に設定して発音を聞く。

- (A) 学内 14 号館 601 実習室配置の「WorldVoice 日中英韓」(高電社) 利用の場合
ソフトを立ち上げ、読み上げたいテキストを入力し、合成音に変換する。
速度調節可。



- (B) 自宅や 14 号館 601 室以外での利用の場合
科大讯飞语音合成在线演示系统 (無料)

<http://www.iflytek.com/TtsDemo/interPhonicShow.aspx>



- 4 同サイトの発音をシャドーイングする。
速度についてゆけるようなら、そのまま練習を続ける。ただし以下の「**シャドーイングのチェックポイント**」をクリアしているか、自身の耳で判断しながら進めること。
- 5 **速すぎてシャドーイングできない**、もしくは**読み上げ音が自分の発音と違う**と感じる場合は、以下のステップから**自分に適したコースを選び**、シャドーイングを続ける。

中国語シャドーイングのチェックポイント

合成音声は、母語話者の自然な発話の断片を繋いで合成する。技術の進歩により、合成音は限りなく母語話者に近づいている。外国語学習者が合成音声を利用するメリットは次の4点に集約できる。

- (1) 母語話者に近い自然な発話を
- (2) 随意的テキストを入力し
- (3) 速度や再生回数、声質（男声・女声）、イントネーション（抑揚）などを変えて
- (4) 繰り返し聴取できる

ネイティブ並みの発音に慣れていない学習者の場合は、合成音の利用、ことにシャドーイングは速すぎて付いてゆけない。その場合は以下のステップから自分に適したコースを選び、シャドーイングを続けるとよい。

A コース 声調シャドーイング

シャドーイング用テキストを、短いセンテンスか単語に区切り、ピンインと声調情報を確認しながら、声調の基本型を忠実に再現できるかチェック練習を行う。

特に **2声** と **3声** は難しい。3+3 は 2+3 声に、4+4 は 2+4 声に **変調** する。

シャドーイング用テキスト中の、2声、3声を含む単語や、変調する語彙を繰り返し聴取して発音練習する。

語彙や文型により変調や抑揚に違いがあるが、**基本声調パターン**（普通話では 5 種類）が型崩れすることなく、**2音節リズムのセンテンスピッチ**（音の高低）を連続して描くようになれば、あなたの中国語は通じる。

B コース 発音基礎チェック

シャドーイング用テキスト中から、以下の子音や母音を含む単語を選び、そのピンインと声調情報を確認しながら、発音できるかチェック練習を行う。

子音 **z, c, s, j, q, x** などの発音に注意。**f** と **h** は異なる子音

単母音 **a, e, u, yu** 複母音 **uo, ou, ian, ue** など発音に注意

鼻音 **-n** と **-ng** を明瞭に発音仕分ける

あなたの中国語はより自然な発音になる。

C コース 全体の仕上げ確認

声調の型を保持したまま、張りのある大きな声で、ピッチとイントネーションを無理なくシャドーイングできるよう練習を行う。あなたはネイティブ並みの中国語を発話できる。